

2021年3月11日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

アドボカシー活動の実施における広報物の作成及び公開について

1. 作成及び公開している広報物

(ア) 国際学術情報流通基盤整備事業 (SPARC Japan) 年報

- ① 内容
当期の基本方針，当年度活動内容（セミナーの記録ほか），委員会等の開催記録と名簿，総合年表，SPARC Japan ニュースレター等を掲載している。
- ② 発行頻度
年1回
- ③ 発行期間
2013年度分～2018年度分

(イ) SPARC Japan NewsLetter

- ① 内容
SPARC Japan セミナーの開催報告の他に，arXiv.org 等国际的なイニシアティブの活動概要も掲載している。
- ② 発行頻度
SPARC Japan セミナー1回につき1誌（年3～4回）
- ③ 発行期間
第1号（2009年度）～第41号（2019年度）
※実際には第43号までが2019年度分

(ウ) その他・SPARC Japan セミナードキュメント

- ① 内容
SPARC Japan セミナーの開催の都度，講演内容を書き起こし，講演動画・講演スライドのほか，ドキュメントの公開を実施している。
- ② 発行頻度
SPARC Japan セミナー1回につき1誌（年3～4回）
- ③ 発行期間
2003年度～

2. 2020年度以降の対応

(ア) 2019年度に「国際学術情報流通基盤整備事業」から「学術情報流通推進委員会」に役割変更をし，事業形態をとらなくなったこと，また，各種記載内容は，委員会資料やNewsLetterに重複掲載されていることから，2018年度分の発行をもって停止したい。

(イ) SPARC Japan セミナードキュメントは継続するが，NewsLetterについては，現状，セミナー内容以外の関係機関・イニシアティブの動向報告が全体に占める割合

は低く、また、実際には **NewsLetter** の発行より早く、メール等でお知らせすることも多い。比較的早い段階での公開が期待されるセミナードキュメントについては、開催の都度とりまとめて公開しているため、これを再掲する **NewsLetter** については、発行頻度をセミナー回数に揃えずに、年 1 回発行としたい。

以上